

**<資料2>**

**令和6年度**

**地域包括支援センター事業計画**

## 令和6年度 地域包括支援センター事業計画

### 【地域支援事業】

	事業名	内 容	時期・回数・その他
介護予防事業	介護予防支援	介護予防に資する地域活動グループ（生きがいサロン）の支援。 各地区へ介護予防についての情報提供	・リーダー研修会 4回 ・介護予防講演会 30回
	話相手ボランティア養成講座	認知症高齢者や障がい者の社会参加の一助として、訪問により話を伺うボランティアを養成する。	・全4回
	元気はつらつ教室	認知症についての普及啓発	・6～10月、全地区33回
	元気いっぱい教室	転倒予防のための運動教室	・11～3月、全地区33回
	おじさんキッチン	男性高齢者を対象に、調理講習会を開き、参加者の組織化と地域社会への参加を促す。自主活動グループ始動。	・月1回実施 その他、産業祭、ケアラーズカフェとの交流
	口腔機能向上教室	高齢者の摂食・嚥下機能低下を予防するため指導を行う。	・地区の要請により随時 ・生きがいデイで2回
	認知症サポーター養成講座	地域住民が認知症を正しく理解することで、偏見をなくし地域で暮せるようサポーターを養成する。	・中学校
	高齢者見守りネットワークの推進	事業者、団体にご協力をいただき、高齢者の見守りを推進	
	徘徊行方不明者捜索活動支援事業の推進	認知症高齢者等の行方不明者を捜索するための携帯電話でのネットワーク	メールリストの更新を行う。
	事業対象者把握事業	高齢者に対し、基本チェックリストにより、要支援・要介護のリスクが高いと判断される高齢者の把握。	・基本チェックリストを送付、回収。コンピューターで対象者を抽出。
	閉じこもり予防教室	閉じこもりうつ傾向にある高齢者に対し外出の機会の提供。	・月1回実施
	事業対象者運動機能向上指導	基本チェックリストにより、運動機能低下と判断された高齢者の個別指導。	・4～9月、12回 ・10～3月、12回

包括的 支援事業	介護予防事業	介護予防プランの作成	地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活して生活できるよう、本人と共に考え、主体的な活動と参加意欲を高め、自立を助長していく。	・訪問、相談、ケアプランの作成等、随時行っている。	
	総合相談・支援事業	ケース検討会	相談業務従事者のスキルアップと事例の共有化を図る。	・ケアマネ会議と合同実施	
		各種相談員研修会	各種相談機関の連携を深め、相談員の資質向上を目的に研修会を開催。	高齢者サービス担当会議と合同で実施。	
		地域ケア会議	関係機関との情報交換や相互理解を深め、ネットワークの強化を図る。 併せて、困難事例の処遇検討をする。	・随時。	
	権利擁護・在宅医療推進事業	権利擁護研修会	成年後見制度についての知識普及。		
		多職種連携推進事業研修会	地域の方々が必要とされるケアについて情報を共有し、解決すべき課題を見つけ、解決に向けてアプローチする。		
		認知症総合支援事業	物忘れ相談	認知症サポート医による面談と認知症疾患センターによるオンライン相談	毎月。
			認知症サポーター養成研修 徘徊行方不明者捜索活動支援システム 認知症研修会	中学2年生を対象に実施  認知症等の行方不明者を捜索するための携帯電話でのネットワーク ・住民・医療介護職向け講演会	4月、5月  年1回
	包括的・継続的ケアマネジメント事業	地域包括センター連絡会議等	地域包括支援センター職員のスキルアップのため、各種研修等に参加する。	・随時	
		高齢者サービス担当者会議	高齢者事業関係機関の資質向上とネットワークづくり。	・月1回実施	
ケアマネジャー会議		町内介護支援専門員の資質向上及び意識の向上を図る。	・月1回実施		
その他	任意事業	介護者のつどい	介護者同士の交流を図るとともに、家族の精神的負担の軽減を図る。	・年6回実施	
		ゆうゆう介護教室	今後、介護が必要になってくる方に介護の予備知識を習得してもらう。	・年2回実施	

保健と介護予防の一体的実施	ハイリスクアプローチ	事業対象者栄養改善指導	基本チェックリストにより、低栄養と判断された高齢者の訪問指導。	・4～3月、2回訪問。
		事業対象者口腔機能向上指導	基本チェックリストとKDBシステムにより、口腔機能低下と判断された高齢者の個別指導。	・4～3月 パタカ機能測定機導入。
		健康づくり友の会	腎機能低下者の重度化防止を目的に仲間作りを行う。KDBシステム導入	・7月,9月,11月,1月の年4回、訪問指導4回。
		非肥満型糖尿病訪問	KDBにより対象者を抽出。訪問による指導を行い、3か月後に再訪問で変化を確認する。	対象者選定基準を見直し、より効果的な指導を行う。
	ポピュレーションアプローチ	地区栄養講習会	食生活改善と、試食提供	・9～3月、全地区33回
		セカンドライフ講座の開催	65歳到達者を中心に、介護予防の意識を高め、人生設計の一助とする。	・5回講座を予定。スポーツ科学の大学講師の協力で活動量測定・筋肉量測定。
		運動機能向上教室	転倒骨折の予防及び加齢に伴う運動器の機能低下の予防、向上を図る。	・通いの場6ヵ所で毎月1回ずつ実施
その他	○運動・スポーツ習慣化促進事業（健康ポイント事業）			